

「じゅうたてじゅうじ」ハハダード」でトトモむ達がイチゴ狩り



子ども達を笑顔で迎える佐藤さん夫婦。イチゴの摘み方をやさしく教えていただきました。



までいの里のこども園からは3歳以上児が1月11日に訪れました。甘いイチゴに思わずにつづり。



いいたて希望の里学園からは1月16日に1・2年生が訪れました。広いハウス内でいきいきとイチゴ狩り。



主にケーキなどに使われる2品種「雷峰」「すずあかね」合わせて約1万株を栽培している広大なハウス。

佐藤博さん・洋子さん夫婦からのトトモ達への贈り物
「じゅうたてじゅうじ」ハハダード」（佐藤博代表／二枚橋・須賀）で、村に通園・通学する子ども達がイチゴ狩りを体験しました。

今回のイチゴ狩りは「クリスマス期の出荷に合わなかつたイチゴが実つていて、苗の植え替え前に、せつかくだから子ども達にお腹いっぱい食べてもらおう」と佐藤さんが企画し実現したもの。子ども達は「甘くておいしい」「イチゴ屋さんになりたくなった」「イチゴがいっぱい

幸せ」などと感想を口にしながら、次々に実を摘み、おいしそうに頬ばつっていました。

子ども達を見送り「喜んでくれてよかったです。やりがいを感じたね」と笑顔を交わした佐藤さん夫婦。震災で中断した栽培をいち早く再開し、村で最初に再出荷を果たした農作物が佐藤さんのイチゴ「雷峰」です。困難を乗り越えてきたハウスに、子ども達の笑顔がまぶしく輝いた2日間でした。



あのグローブがつぶに
飯館にも一児童の皆さん
がついても嬉しひいへど
「大谷選手は来なーのーへ」
といつた微笑ましい会
話が聞こえました。全校
生を代表してキャッチ
ボールをした児童が、「マ
ジ緊張した」そつ(笑)私
も緊張してみたいですが
を叫びながら…もひと
欲張って握手がしたい
です。(大和田)

〈編集後記〉

上の段に編集後記を
書いている(大和田)や
んば、先日弓まで(菅
野)やんべした。(すで
に気づいて「あれ?」
と思つていた方、編集
後記まで丁寧に読んで
いただけておりがとう
ござります。(大和田)
さんと(菅野)さんは
同一人物ですので念の
ためご報告します。詳
しく述べ本紙P.27をご覧
ください。(尾)

ご活用ください！ 飯館村生活応援商品券

1世帯あたり 3万円分の商品券 (1,000円券×30枚)

物価高騰の影響を受けている家計への支援、地域経済の活性化を目的として、『飯館村生活応援商品券』を1月末に配付しました。対象は、令和5年12月1日において村の住民基本台帳に記載されている世帯です。商品券が使える店舗については、商品券と一緒に送付した取扱店舗一覧をご確認ください。

使用期限は令和6年3月31日

※使用期限が延長となる際は広報お知らせ版等で周知いたします。

問村づくり推進課商工観光係 ☎0244-42-1620

